

「健康なしつけ」の勧め

1. 早寝・早起き・朝ごはん・快便

幼児の発育上、夜は9時には寝かせましょう。睡眠不足は昼間に元気がでず、友だち仲間との遊びに力不足で、ついていけません。朝食を食べ、便も出るようにゆとりのある時間を作りましょう。

2. 親御さんの不安は子供さんに伝染します。

「大丈夫かな？ちゃんとやっているのかな？」このような親御さんの不安な気持ちが、「親離れ」を遅らせることがあります。お気持ちはわかりますが、「園は子供さんにとって友だちと遊ぶ楽しいところ」と受けとめ、まず安心して送り出してください。

3. 質問せめは止めましょう。

「今日は何して来たの？」「お友だちはできた？」・・・の連発、園での生活が気がかり、知りたいことでしょう。しかし子供さんが自分で言い出せるまで、辛抱して待つてあげてください。大人もそうですが、自分の体験を自分の言葉でできるようになるには時間が必要なのです。加えて遊びに熱中し、満足した後などは、無口でいたいものです。時折大人のせつかちな態度が、子どもさんの心を圧迫し、逆に口を閉じさせていることもあるようです。

園では「ブログ」を用いて園での子供さんの姿を発信しています。園全体の記録ですから、必ずしもわが子探しの親御さんのご満足には程遠いかもしれませんね。少しでも園での子供さんの様子を見ていただけたと思います。

4. 他の子供さんとの比較をしない。

「〇〇ちゃんと違ってうちの子は！」とついつい心がはやりますね。子供さんは幼くても、その子なりに感じる心を備えています。大人に何も反論しないだけで、傷ついていることがあったりします。「わが子はわが子」と心して認め、かわいがってくださいね。

5. お祈りについて。

園では毎日礼拝で、昼食の時、お帰りなど皆でお祈りします。いつの間にかお祈りが身につき「目には見えないけれど、神さまは見ていてくださる」の心が養われていきます。子供さんがお家でお祈りされることがありましたら、どうか茶化したりなさらず、親御さんも一緒に黙とうしてくださるとありがたいです。

.....  
求めなさい。そうすれば与られる。  
探しなさい。そうすれば見つかる。